

# Alterations in the gut microbiome in patients with esophageal carcinoma in response to esophagectomy and neoadjuvant treatment

蓮田, 博文

<https://hdl.handle.net/2324/6787492>

---

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (医学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)

氏名： 蓮田 博文

論文名： Alterations in the gut microbiome in patients with esophageal carcinoma in response to esophagectomy and neoadjuvant treatment

(食道癌患者の術前治療と食道切除における腸内細菌叢の変動)

区分： 甲

### 論文内容の要旨

【背景】食道扁平上皮癌の腸内細菌叢を解析することは、今後の治療戦略のためにも重要である。本研究の目的は食道扁平上皮癌患者の腸内細菌叢を明らかにし、治療期間中での菌構成の変動を解明することである。

【方法】合計21人の食道扁平上皮癌患者を対象とし、術前治療から術後までの期間で合計5回の菌叢変動の観察を行った。10人の健常人が対照群として用いられた。糞便サンプルを採取し、16S rRNAの解析を行った。

【結果】食道癌患者は健常人と比較し、治療前より $\alpha$ 多様性と $\beta$ 多様性が異なる状態であった。食道癌患者は通性嫌気性菌である*Streptococcus*属の相対存在量が高く、一方で偏性嫌気性菌である*Faecalibacterium*属の相対存在量は低かった。 $\alpha$ 多様性と $\beta$ 多様性は術前治療期間中では変化せず、術後に顕著に変化した。術後に*Streptococcus*属の相対存在量はさらに増加し、*Faecalibacterium*属はさらに低下した。

【結語】食道癌患者の腸内細菌叢は手術治療により変化した。

